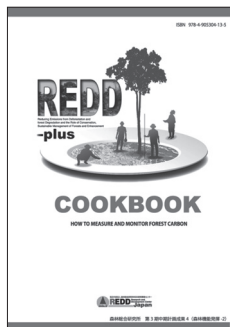


図書紹介

REDD-plus COOKBOOK



平田泰雅, 鷹尾 元, 佐藤 保, 鳥山淳平 (編著)
(2012) 森林総合研究所 REDD 研究開発センター.
152pp. ISBN978-4-905304-13-5
森林総合研究所 REDD 研究開発センター
ウェブサイト [http://www.ffpri.affrc.go.jp/redd-
rdc/ja/](http://www.ffpri.affrc.go.jp/redd-
rdc/ja/)
メールアドレス redd-rd-center@ffpri.affrc.go.jp

REDD-plus COOKBOOK とは、森林総合研究所 REDD 研究開発センターが発行した、REDD プラスに関する技術解説書です。REDD プラスに関する国際的議論、REDD プラスの計画、REDD プラスのための森林炭素モニタリングの基本、参考文献紹介など、REDD プラスの前提となる「基礎知識」から「森林炭素モニタリングの実践」まで、ステップバイステップで丁寧な解説を行っています。レシピと名付けた項目ごとに記述が完結しているのに加え、関係するレシピを示すフローチャートによって、REDD プラスについてどうすればよいかと迷ってしまったときの、お助け地図にも使えます。これから REDD プラスを学ぶ人や森林炭素モニタリングをしたことがない人だけでなく、すでに REDD

プラスに取り組んでいる人にも役立ちます。

REDD プラスの基本は、森林炭素量の変化に応じた支払いを実施することです。REDD プラス活動により活動がないときに比べ、森林のもつ炭素量が多くなったとき、その量に応じたお金を得ることができるようになるという仕組みです。そのため、REDD プラスの森林炭素量推定は、これまでの森林調査で行われてきた、一本一本の木の重さの推定や数十 m 四方から数 10ha 程度の試験地の炭素量推定とは異なります。国、州、県といった広い面積の中に、いろいろな森林が混じり合っている状態で、二酸化炭素 1 トンあたり何ドルという支払いに耐える精度と透明性が求められます。

REDD-plus COOKBOOK を一読すればわかるように、REDD プラスの森林炭素モニタリングは素人集団だけでできることではありません。地上調査、衛星リモートセンシング情報の解析など、自分たちでできないことは、その道のプロに依頼せざるを得ないのです。REDD-plus COOKBOOK は、プロに何をどう頼むかの参考書でもあるのです。

REDD-plus COOKBOOK には、日本語版と英語版があります。外国の人たちと打合せを行うときなどに、レシピの番号を合わせることで、自分たちが日本語で理解したのと同じ内容を、英語で参照してもらえます。

REDD-plus COOKBOOK の PDF 版は、森林総合研究所 REDD 研究開発センターウェブサイトからダウンロードできます。REDD 研究開発センターにメールで依頼すれば、冊子版を無料送付してもらえます。紹介文を見て、興味をもった人も、この紹介ではよくわからないという人にも、REDD-plus COOKBOOK をご覧いただければ幸いです。

(藤間 剛)